

日本特殊陶業株式会社 常務取締役 柴田良昌氏

日本特殊陶業株式会社 研究部次長 松尾康史氏

日本特殊陶業株式会社 研究部主査補 服部善憲氏

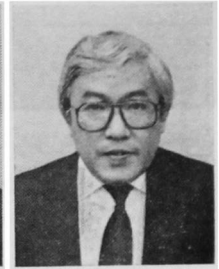
日本ガイシ株式会社 取締役 樋口 昇氏

日本ガイシ株式会社 セラミックス
事業部部長 小川 裕氏

日本ガイシ株式会社 第一、第二
研究所所長 小田 功氏



柴田良昌氏



松尾康史氏



服部善憲氏



樋口 昇氏



小川 裕氏



小田 功氏

〔業績〕 セラミックターボチャージャーローターの開発と実用化

我が国では、昭和 60 年 10 月以来、セラミックターボチャージャーローターが初めて実用化されたが、その後、破損事故皆無で、高い信頼性が実証され、最近生産台数も急増し、この難しい技術が完全に確立されたことは特筆されるべき壮挙である。

幾多の長所をもつセラミックスを高温高速回転機の部材として活用することは、長年の夢であったが、固有の脆性に阻まれ、その技術開発は極めて困難で、欧米先進国における約 20 年前後の自動車用ガスタービン計画の結果を見てもこれは明らかであった。それだけにこの成功は世界的な快挙といえよう。

被推薦者らは、我が国屈指の陶磁器関係企業に所属し、従来から蓄積されたセラミックス製造・検査技術の上に、昭和 58 年発足した、関連の深い国家計画に参画し国の内外の知見を吸収し、福浦雄飛氏（日本特殊陶業前専務取締役）、山本登氏（日本ガイシ前専務取締役）の指導のもとに、更に社内外の多くの研究者や技術者の協力を得て比較的短期間にこの大業を成し遂げた業績は大きい。すなわち、窒化ケイ素原料粉末、同助材類の選択、混合、成形、焼結、仕上、接合など一連の製造工程技術及び各種検査、保証など評価技術に至るまで一貫して徹底的に研究し技術を開発した。この間ユーザーである自動車会社と緊密な協力のもとに設計、仕様、検査方法を定め、それを満足する、ターボローターを完成し実生産ラインを完成した。

最近における我が国のセラミックス技術の進展は目覚ましく、上記に匹敵する構造用セラミックスに成功した例は、他にも散見される。しかし、次の大きな目標とされているセラミックスガスタービンの完成に最も近く、その成果が、国際的にはもちろん、国内的にも最もドラマチックであり、世界中のセラミックスの研究者、技術者を勇気づけ、その波及効果は計り知れないほど大きいものと思われ。よって日本セラミックス大賞の受賞に十分値するものとしてここに推薦する。